

令和4年度日向・東臼杵市町村振興協議会 専門部会取組概要一覧表

令和5年4月1日現在

部会	番号	専門部会	専門部会等開催状況	目的	継続・新規	検討（実施）内容	取組範囲	令和4年度の決算 （千円）	令和5年度 予算案 （千円）	協議結果及び今後の取組予定
総務	1	防災	第1回 R5. 2. 10 情報伝達訓練 R5. 3. 27	圏域防災体制の強化・充実	継続 (H24～)	・防災力向上について課題や事例共有及び協議	全域	0	0	専門部会において、広域避難受入のこれまでの経緯を確認しました。また、昨年度実施できなかった衛星携帯電話による情報伝達訓練を実施しました。 今後、各市町村において、避難者の受入可能施設、収容可能人数の精査を行うほか、広域避難に関する講演会や図上訓練等の実施を模索してまいります。また、毎年度6月及び11月に衛星携帯電話による市町村情報伝達訓練を実施します。
	2	消防	第1回 R4. 9. 1 第2回 R5. 1. 23	消防常備化の推進	継続 (H25～)	・消防常備化へ向けた検討 ・消防通信指令業務の共同運用 ・円滑な119番転送業務の確立	全域	0	0	・入郷3町村からの119番通報の転送業務の現状と今後についての協議 ・宮崎県市町村消防広域化検討会の情報共有 ・日向市消防本部の指令台更新に関する協議（令和6年度更新予定） ・令和5年度も消防広域化の情報共有や指令台更新の協議を引き続き実施します。
	3	人材育成	第1回 R4. 7. 19	効率的な人材育成体制の構築	継続 (H26～)	○研修計画と各自自治体の課題の協議 ○出前研修 ・接遇研修 4/4 出席者40名 ・コンプライアンス研修 7/12～13 出席者90名 ○情報発信力向上講座の開催 10/25 出席者53名	全域	110	0	専門部会では広域で実施する出前研修やBSR研修の代替研修について協議を行ったとともに、人事評価や各市町村での研修について意見交換を行いました。今後も出前講座制度を活用し、広域の研修を開催するとともに、メンタルヘルスに係る研修の開催を検討していきます。観光部門と連携し、「情報発信力向上講座」を広域対象に開催しました。今後も他部門との連携機会があれば、積極的に研修等を実施していきます。
	4	公平委員会	未開催	圏域での公平委員会設置	新規 (R3～)	・公平委員会の圏域共同設置可否	全域	0	0	共同設置が可能かどうかの協議を進め、可能と判断された場合は、共同設置に向けて準備を進めてまいります。
企画	5	移住	第1回 R4. 7. 26	圏域への定住移住促進	継続 (H28～)	・圏域市町村の取組、課題の情報共有 ・情報発信	全域	399	100	平成28年度に作成した「日向・入郷山ごち」ホームページについて、開設から5年以上経過しているため、掲載内容等を見直してリニューアルを行いました。また、JOINの出前講座制度を活用し、講師を招いた先進事例の学習も予定していましたが実施できませんでした。今後も情報共有を兼ねた意見交換会を開催します。
	6	公共交通	第1回 R4. 6. 2 第2回 R4. 7. 15 第3回 R5. 1. 12	圏域内バス路線の維持・確保	継続 (H24～)	・諸塚村塚原、美郷町神門行きの路線の広域的バスへの転換 ・レーヨン線、道の駅とうごう線の運行状況の協議	全域	0	0	国の補助要件から外れる路線の次年度以降の路線維持のための運行形態や現状の路線の現状について協議を行いました。今後とも、これらの路線の維持のため、運行内容の転換、車両小型化等を視野に入れた運行形態のあり方について、今後も協議を重ねていきます。
福祉	7	医療介護連携	第1回 R4. 6. 2 (ZOOM) 第2回 R4. 12. 15 (ZOOM) 研修会 R5. 2. 24 (ZOOM)	高齢者福祉の向上	継続 (H27～)	・医療、介護地域資源リストの更新 ・入退院支援のためのコミュニケーションハンドブック等活用の周知 ・課題整理	全域	0	0	第1回 令和3年度事業実績報告及び令和4年度事業実施計画について協議を行いました。 ・医療介護連携情報共有連絡票の活用状況について ・日向保健所との連携協力について ・年間計画における取り組みの要望について 第2回 令和4年度事業経過報告、アンケート結果報告について協議を行いました。 ・アンケート調査及びハンドブック概要版の配布・周知について ・医療・介護連携における研修会の開催について 研修会 ・アンケート調査の結果報告 ・講義：「医療・介護のあり方について」 講師：埼玉県立大学大学院 研究開発センター教授 川越雅弘 参加者：97人(医療機関、介護事業所、包括支援センター、行政など)
	8	成年後見制度利用促進検討	第1回 R4. 4. 21 第2回 R4. 5. 13 第3回 R4. 5. 26 第4回 R4. 5. 31	認知症の人や障がいのある人の権利擁護の推進	継続 (H30～)	成年後見制度利用促進基本計画（平成29年3月24日閣議決定）に基づく広域での権利擁護支援体制（地域連携ネットワーク及び中核機関の設置）の整備	全域	0	0	令和4年度は、計4回の担当者レベルでの協議を重ね、成年後見制度利用促進基本計画にもとづく中核機関を各市町村ごとに設置するよう取り組みました。令和5年度は、広域での地域連携ネットワークの構築について協議を進めます。
	9	地域生活支援拠点整備	視察 第1回 R4. 7. 21 R5. 2. 21（意見交換）	障がい児者の地域生活の支援	継続 (H30～)	基幹相談支援センター開設後の地域生活支援拠点に求められる「専門性」、「体験の機会・場」、「地域の体制づくり」、緊急時の受け入れ」の検討	全域	0	0	障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能をもつ場所や体制の機能を持つ地域生活支援拠点が整備された宮崎県に視察を行ったほか、面的整備のための意見交換を実施しました。令和5年度も圏域での取り組みを協議してまいります。

令和4年度日向・東臼杵市町村振興協議会 専門部会取組概要一覧表

令和5年4月1日現在

部会	番号	専門部会	専門部会等開催状況	目的	継続・新規	検討（実施）内容	取組範囲	令和4年度の決算 （千円）	令和5年度 予算案 （千円）	協議結果及び今後の取組予定
商工観光	10	医療関連産業振興	R4.5.5.22 宮崎県北部メディカル産業推進協議会総会	医療関連産業の振興	継続 (H24～)	宮崎県、延岡市、日向市、門川町が一体となって「東九州メディカルバレー構想」と連携しながら、医療関連産業の振興を図り、活力ある地域づくりを推進する。	延岡市 日向市 門川町	0	0	医療関連産業の振興について以下の項目を実施しました。 ・地場企業とのオンライン面談後に現場見学と面談を実施し地場企業の実態に即した支援及び施策の検討 ・日向市・門川町内での支援企業の発掘（企業データベースより抽出した地元企業を訪問し、ヒアリングと専門家相談や製販企業との商談を提案） ・展示会・商談会（国際福祉機器展等への出展支援） ・地場企業PRツールの作成支援（企業の技術・魅力の発信）
農林水産	11	鳥獣被害対策	第1回 R4.8.25	鳥獣被害の抑制	継続 (H24～)	農業部会等において鳥獣被害対策研修会を実施	全域	0	0	鳥獣被害対策の基本的な考え方の浸透・定着を図る取り組み（研修会）を各市町村において実施しました。 今後も引き続き、研修会等を実施し、鳥獣を近づけない集落環境づくりや追い払いなどを行い、地域リーダーを育成し、鳥獣被害対策を総合的に推進します。
	12	担い手対策	第1回 R4.8.25	林業担い手の育成	継続 (H30～)	森林環境譲与税を活用した担い手の育成や確保について検討	全域	0	0	令和4年度の各市町村の取り組みについて、情報共有が図られ、令和5年度予算に反映しました。 今後も引き続き、情報共有し、地域の実情に応じた創意工夫による取組を検討します。
建設	13	土木	第1回 R5.2.22～28	魅力ある景観の形成	継続 (H25～)	地域資源等を活かした景観形成の検討	全域	0	0	新たな資源の再調査及び現地踏査を予定していましたが、令和4年9月の台風第14号の影響により、限られた市町からの調査報告のみとなりました。 令和5年度は、再度、調査を行い、新たな資源を整理し、情報共有、現地踏査を行いながら、「日向・東臼杵圏域における文化的価値の高い土木建築物資産報告書」の更新内容を検討します。
	14	公共施設維持管理	第1回 R5.2.10	効率的な公共施設の保守管理	継続 (H28～)	公共施設維持管理手法等の検討	全域	0	0	日向市で開催した橋梁点検研修において、直営点検、ドローン活用事例、点検診断事例、新技術と活用方法等について講義、現場実演等を行い、橋梁点検の取組みについて、情報共有を行いました。 引き続き、各自治体が発している維持管理の手法について情報共有を図ります。
教育	15	生涯学習	未開催	生涯学習の更なる推進	継続 (H26～)	広域的な生涯学習講座の開催	全域	0	0	コロナ禍の影響により専門部会の開催には至りませんでした。 今後、コロナ禍後の広域的な生涯学習の連携のあり方を検討します。
	16	高校魅力向上支援	第1回 R4.11.7	県立高校募集定員割れ対策	新規 (R1～)	高校魅力向上策の検討、リーフレットの作成	全域	374	253	高校の進路状況や県立高校の状況について意見交換を行ったほか、県立高校の魅力を分かりやすく伝えるリーフレットを作成しました。 令和5年度も圏域の県立高校の魅力を進学予定の中学生に伝えるため、リーフレット作成を検討するとともに関係者で意見交換を図ってまいります。